

2021  
6月

# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 202 号-①【基準日 2021 年 5 月 31 日】



## 🌸 社長メッセージ



### 平常心で淡々と資産運用を継続する

ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので今年も6月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

国内では新型コロナウイルスの感染防止のため、緊急事態宣言が6月20日まで再延長されることになりました。最近のニュース報道は、もっぱらワクチン接種状況に関することと来月に開催が迫っている東京五輪に関することばかりです。弊社オフィス近くに大規模接種会場があるので、最近では毎朝、駅前で接種会場の案内看板を持っている人を見かけるようになりました。全国でのワクチン接種のスピードは上がってきていますが、重症患者数など医療体制はひっ迫したままなので、6月20日までに感染状況が収束に向かい緊急事態宣言が予定通りに解除されるのかどうかは今後の状況次第だと思われます。大変な状況がしばらくは続きそうですが、この状況になんとか上手く適応して慣れていくしかありません。日々の生活を大切にしながら体調に気をつけて乗り越えていきましょう。



### ワクチン接種加速による景気回復期待で上昇

さて、先月5月のマーケットですが、欧米を中心にワクチン接種が加速したことにより経済活動正常化による景気回復期待から景気敏感株を中心に世界株式市場は総じて上昇しました。月中まではインフレ懸念による米国長期金利上昇から米国株を中心に軟調に推移し調整しましたが、月後半には米国長期金利上昇も一服したことでグロース株も買い戻されて上昇し、相場全体が上昇して一か月を終えました。日本株については、ワクチン接種の出遅れや緊急事態宣言の延長による影響で大きく調整した後、月後半に景気敏感株を中心に買い戻されて上昇しましたが上値の重い1ヶ月となりました。

そのような中で、皆さまのありがとうファンドの先月の騰落率は月間で0.7%の上昇となり、先月に続いて基準価額、純資産額ともに過去最高値を更新いたしました。世界株は2.4%の上昇でしたので相対的にやや出遅れるパフォーマンスとなりました。参考までに日本株TOPIX配当込みについては+1.4%の上昇でした。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## 国・地域や個別企業毎の格差は拡大

先月5月末に発表されたOECD(経済協力開発機構)の世界経済見通しによれば、世界の2021年の成長率見通しは+5.8%と前回から+0.2%引き上げられました。ワクチン接種が進んでいる米国、欧州が上方修正されました。また中国は+8.5%と+0.7%の大幅上方修正となった一方で、日本の成長率は+2.6%と前回よりも-0.1%下方修正されました。

今後のマーケットについては、引き続きワクチン接種・普及スピードによる国・地域ごとの新型コロナウイルスの感染収束・景気回復期待と個別銘柄の業績内容や今後の業績見通しに注目が集まってくるとともに、インフレ懸念や米国長期金利の水準や米国バイデン政権の財政拡大政策と金融緩和縮小(テーパリング)の議論など、引き続き各国政府・中央銀行による金融緩和・景気対策・財政出動の持続性に左右される相場展開になると思われます。



過剰流動性の金融相場が続く中、カネ余りによる資産価格の上昇や投機的な動きとして、一部では実態から乖離した価格上昇も見られるなど過熱感がある一方で、景気回復期待を背景とした国・地域での格差や個別企業の決算内容や業績見通しによるパフォーマンスの格差も出始めており、国・地域の分散と個別銘柄の選別が引き続き重要になってくると考えます。引き続き世界の株式市場は上下にボラティリティの高い相場状況が続くと思われます。

そのような中で、ありがとうファンドでは、引き続き持続的に利益成長していける質の高いクオリティグロース企業を中心に厳選して長期投資し、幅広く世界に国際分散投資することでリスクを抑えながら優れた運用成果の提供を目指して参ります。

## 上昇相場でも下落相場でも平常心で淡々と継続する

新型コロナウイルスのパンデミックが始まってから既に1年以上が経ちました。昨年のコロナショックから期待先行でV字回復、K字回復してきた世界の株式市場は、ワクチン接種加速による経済正常化からの本格的な景気回復期待、企業業績の回復期待で上昇を続けている一方で、大規模な財政出動や金融緩和の出口議論や需給要因によるインフレ懸念も顕在化してきていて半年前、1年前とは異なった経済・マーケット状況になってきています。

いつも申し上げていることですが、個人の資産運用で大切なことはマーケットに居続けて資産運用を継続することです。資産運用を長期で継続している間には予想外の様々な事が起こります。経済は私達の日々の生活とともに生き物のように動いており、マーケットは日々変動していて楽観と悲観を繰り返し上下に行き過ぎてしまうことも珍しいことではありません。このような中で、長期的な運用成果を得るためには、バブルのような大きな上昇相場も危機やショックのような大きな下落相場も経験しながら資産運用を継続していく必要があります。

投資関連の情報に接していると、強気派の楽観的なコメントと弱気派の悲観的なコメントの両極端な情報を見かけることがよくありますが、個人の資産運用にとっては、両方とも継続を妨げるノイズだったりするのであまり参考にしない方がよいでしょう。日々の価格変動に一喜一憂せず、上昇相場でも下落相場でも平常心で淡々と継続することが資産運用で成功するための秘訣ではないかと考えます。

弊社ではこれからもお客様のために優れた運用成果の提供を目指して運用していくとともに、お客様の資産運用を成功に導く伴走者として一生涯サポートできるよう精進して参りますので、引き続きありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

## 積立投資のススメ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

### 「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、  
時間を味方につけていきましょう！

| 期間             | 平均取得単価  | 損益      |
|----------------|---------|---------|
| 1年             | 22,361円 | +19.0%  |
| 3年             | 19,249円 | +38.3%  |
| 5年             | 18,232円 | +46.0%  |
| 10年            | 13,919円 | +91.2%  |
| 初回(2004年10月)から | 11,955円 | +122.7% |

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

| ＜ご参考＞毎月1万円積立した場合 |       |           |
|------------------|-------|-----------|
| 期間               | 投資額   | 評価額       |
| 1年               | 12万円  | 14万2850円  |
| 3年               | 36万円  | 49万7826円  |
| 5年               | 60万円  | 87万6003円  |
| 10年              | 120万円 | 229万4945円 |
| 初回(2004年10月)から   | 200万円 | 445万3121円 |

2021年5月31日現在(基準価額:26,619円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

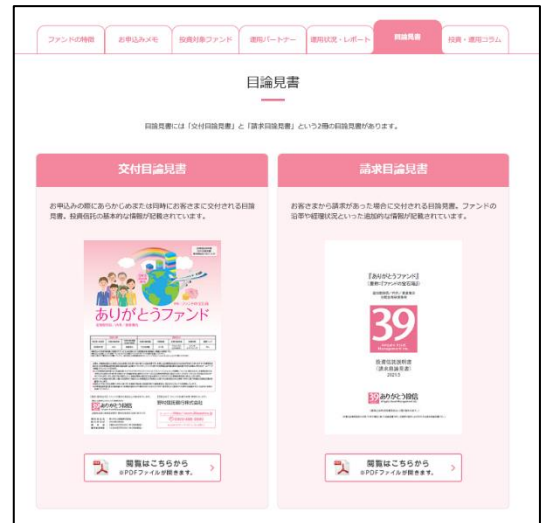
## 目論見書改訂のお知らせ

『ありがとうファンド』の半期報告書及び訂正届出書を5月31日付で関東財務局に提出したことに伴い、目論見書の記載内容を変更いたしました。目論見書の交付をご希望のお客さまには、マイページ上での交付、または郵送させていただきましたので、ご確認くださいませようお願いいたします。

尚、今後目論見書の交付が不要なお客さまは、弊社カスタマーサービス部までお問い合わせください。（※目論見書の重要な変更時にはすべてのお客さまにお送りいたします。）

また、ホームページ上にも目論見書を公開しております。

こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/prospectus/>)からご覧ください。



## 「39紹介プログラム」好評実施中！ ～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

既に口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介して頂いた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします

ご家族・ご友人

# 39紹介プログラム

**3/9 START!**

紹介を受けた方がありがとう投信の  
新規口座開設+定期積立1万円以上を  
6ヶ月継続していただくことで  
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈！



## 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

|              | 【新規で定期購入を申込】<br>【引落とし口座変更】 | 【定期の引落とし金額を変更】<br>【定期引落としを中止】 | 【引落日】   | 【買付申込日】  | 【約定日】<br>(ファンドの購入日) |
|--------------|----------------------------|-------------------------------|---------|----------|---------------------|
| 2021年<br>6月分 | 4月30日(金)                   | 5月26日(水)                      | 6月7日(月) | 6月15日(火) | 6月17日(木)            |
| 2021年<br>7月分 | 6月3日(木)                    | 6月24日(木)                      | 7月6日(火) | 7月14日(水) | 7月16日(金)            |
| 2021年<br>8月分 | 7月5日(月)                    | 7月27日(火)                      | 8月6日(金) | 8月17日(火) | 8月19日(木)            |
| 2021年<br>9月分 | 8月5日(木)                    | 8月25日(水)                      | 9月6日(月) | 9月14日(火) | 9月16日(木)            |

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

|    |        |           |                |
|----|--------|-----------|----------------|
| 6月 | 23日(水) | 建国記念日     | ルクセンブルグの銀行休業日  |
| 7月 | 5日(月)  | 独立記念日(振替) | ニューヨーク証券取引所休業日 |
| 8月 | -      | -         | -              |



## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| リスク   | 当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。 |
| 手数料   | 申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 信託報酬  | ファンド純資産総額に年 0.99%(税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。<br>[実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.55%±0.2%(概算)]<br>※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。                                                                                                                                     |
| その他費用 | ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。                                                       |

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

### ■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼できると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。